

第57回石川県体重量別柔道選手権大会実施要項

- 1 主 催 石川県柔道連盟
- 2 後 援 北國新聞社
- 3 期 日 令和3年6月6日(日) ※ 大会を中止または延期する場合もある。
- 4 競技日程 (1) 受 付 8:00~
(2) 計 量 公式計量 8:25~8:55 <柔道場にて>
(非公式計量 8:10~8:25)
※ 前日計量は行わない。当日のみ実施とする。
(3) 審判監督会議 9:10~
(4) 開 会 式 9:30~
- 5 会 場 石川県立武道館 〒920-0811 石川県金沢市小坂町西 8-3
TEL 076-251-5721 FAX 076-251-5669
- 6 階 級 ①60 kg級 ②66 kg級 ③73 kg級 ④81 kg級 ⑤90 kg級 ⑥100 kg級 ⑦100 kg超級
- 7 出場資格 (1) 石川県在住の者で、今年度全柔連に登録済みの者
(2) 専門学校・大学生および一般社会人の男性
(3) 所属長の許可を受けた者
(4) 所属のゼッケン着用
(5) 新型コロナウイルス感染症対策の観点から、各所属の出場選手は全階級で18名までとする。
- 8 試合方法 (1) 国際柔道連盟試合審判規定(2018.1.1より適用)で行い、試合時間は4分とする。
(2) 規定試合時間(4分)において、試合は「技あり」もしくは「一本」のテクニカルスコアでのみ決着がつくこととする。
(直接もしくは累積による)「反則負け」を除き、「指導」(1回目、2回目)の違いだけでは勝者を決定しない。
「指導」は相手のスコアとはならない。「指導」の上限は3回とし、3回目の指導は「反則負け」とする。
既定の試合時間が終了した時点で両者にスコアがない、またはスコアが同等である場合、「指導」の有無にかかわらず、その試合はゴールデンスコアに移行する。
ゴールデンスコアに移行する前に与えられたスコアならびに「指導」は、ゴールデンスコアに持ち越され引き続きスコアボードに表示される。
ゴールデンスコアにおいては、スコア(「技あり」か「一本」)または「反則負け」(直接的または「指導」の累積による)によってのみ勝負が決まる。
「指導」は相手のスコアとはならない。
(3) 柔道衣の乱れに対する新たな罰則を施行する。(全柔連発第30-0800号)

- (4) その他、令和2年度から新たに適用される罰則（指導・反則負け）の施行について
（全柔連発第19-0967号）

ア 従来は、「攻防に関係の無い行為で、自らの柔道衣（裾部分）を帯から出す行為」を対象としていたが、今後は、「攻防に関係の無い行為で、意図的に相手の柔道衣（裾部分）を帯から出す行為」も対象となり、「指導」が付与される。

通常の攻防の中で、偶発的に相手の服装を乱すことは対象とならない。

イ 「故意に相手の足を踏みつけて技を仕掛ける及び故意に相手の頭髪を掴んで技を仕掛ける行為」は、柔道精神に反する行為として「反則負け」が付与される。但し、1回目は偶発的に起きうる可能性もあるので「待て」として、ノースコア、ノーペナルティで試合を継続する。2回目が起これば、故意であると判断し「反則負け」を付与する。

- (5) 試合はトーナメント法で行う。

9 表 彰

- (1) 各階級3位までを表彰する（5名以下の階級は、1・2位のみ表彰）。
(2) 各階級の優勝に賞典を授与する。

10 参加申込 所定の申込用紙に必要事項を記入し、メールで申し込むこと。

※ 各所属から帯同審判員1名を記載願います。ただし、審判員を出せない場合はこの限りでない。帯同責任者（監督者）と帯同審判員の併任は可とするが、その他の入場者は認めない。

11 参加料 1名 1,500円（当日受付にて徴収）

12 申込期日 令和3年5月21日（金）午後5時 必着（厳守）

※ 申込み期限を過ぎたものは一切受け付けない。

13 抽 選 県柔道連盟競技委員会にて行う。

14 申 込 先 〒920-1182 金沢市田上町公1 金沢刑務所内

上野 純一 宛（石川県柔道連盟競技委員会）

TEL 076-231-4291 アドレス ishikawa.judo.kyoudgi@gmail.com

メールでの申し込みとします。メールを受信した後、「受付完了メール」を返信しますので、申込期日が過ぎても返信がない場合は、競技委員会まで連絡願います。

15 そ の 他 (1) 試合中の負傷等については、応急処置を行う。出場者の傷害保険は主催者が加入し、その費用を負担する。保険の詳細については大会事務局へ問い合わせること。

(2) 各所属の責任者は、当該選手の試合が終了するまで会場に待機してください。

(3) 参加申込用紙に記載された個人情報、競技結果が、大会プログラム、競技会場内の掲示板、本連盟ホームページに掲載される場合がある。また、その他の報道機関等により新聞、テレビに公開される場合がある。提出された個人情報は前述の目的以外に利用しない。

ライブ配信によって試合映像が本連盟加盟団体に限り、配信されることがある。またケアシステムの動画は各種委員会講習会で使用されることがある。

参加申込用紙の提出により、個人情報、競技結果、肖像権について承諾を得たものとして対応する。

(4) 大会前1ヶ月以内に脳震とうを受傷したものは、脳神経外科の診察を受け、出場の許可を

得ること。

- (5) 大会中、脳震とうを受傷したものは、継続して当該大会に出場することは不可とする。
練習再開に際しては、脳神経外科の診断を受け許可を得ること。
当該選手の指導者は、大会事務局および全柔連に対し、書面により事故報告書を提出すること。
- (6) 別紙コロナ対策を参照のこと。